

先生たちに聞いてみた / ひとり1台環境の はじめかた。

先生たちの体験談・
簡単チェックリスト
付き



Google for Education

教員と児童生徒が活用するのに最適な、共有可能な端末と共同編集ツール



Google が開発した学習向けパソコンで、軽量で耐久性が高く、Chrome OS で起動が早い。デスクトップモードとタブレットモードの切り替えができ操作も簡単。安心安全なセキュリティで、管理、運用の手間を省けます。

Chrome Education Upgrade

管理コンソール上から端末の管理や運用も簡単に行うことができる端末管理ライセンス。ログインユーザーの制限や、テスト中の別のアプリやブラウザを開けないように設定でき、紛失・盗難時には簡単に端末を無効化できます。

Google Workspace for Education

プレゼンテーションや表計算ソフトなど様々なアプリケーションをブラウザ上で利用でき、授業における協働学習や校務の効率化を図ることができる。教育向けエディションは無償で利用できます。

Google Workspace for Education ツール一覧

クラスを管理



Google Classroom

直接生徒と交流して課題や提出物が管理でき、生徒にわかりやすく指導ができる



Google フォーム

簡単にアンケートやテストを作成でき、集計結果はスプレッドシートにリアルタイム反映

確実な管理



管理

最高クラスの多層防御セキュリティにより、オンライン上の脅威から保護できる

最適な方法でのコミュニケーション



Gmail

メールの送受信や整理、連絡先の管理を行い、さまざまな学習スタイルに対応できる



Google Meet

学校や自宅から、どんな端末でも、簡単な操作だけでオンライン授業や会議に参加できる



Google Chat

個人間やグループでチャットができ、ファイルを共有して素早いコラボレーションが可能

場所を問わず共同編集が可能



Google ドキュメント

オンラインで文書を作成、編集、共同編集し、ノイズや学習スタイルに合わせて活用できる



Google スプレッドシート

表計算だけでなく意見集約など多様な活用方法で、リアルタイムに複数人で編集ができる



Google スライド

授業での発表などでのプレゼンテーションを作成と編集、複数人で共同編集できる



Google ドライブ

ウェブ上のファイルのアップロード、編集、共有を行える。多様なファイル形式に対応



Google Jamboard

クラウドベースのホワイトボードで、アプリケーションでも利用でき、どこからでも参加可能



Google サイト

保護者に対するポータルサイトなど、簡単なウェブサイトを容易に作成できる

すべてのタスクを管理



Google Keep

多機能メモアプリで、アイデアやタスクを管理でき、他のユーザーとも共同作業が可能



Google カレンダー

授業や会議の予定を管理・公開でき、個人用のリマインダーを追加できる

GIGA スクール構想を実現した授業が、いよいよはじまります。
新しい環境に、先生方も戸惑われているかもしれません。
しかし、心配する必要はありません。

Google for Education のツールは、
先生方のフィードバックをもとにつくられているので、
Chromebook を使った授業が初めての方でも、簡単に始められるでしょう。
先生同士、生徒同士、そして先生と子どもがともに学び合えば、
より良い学びが生まれると、わたしたちは信じています。

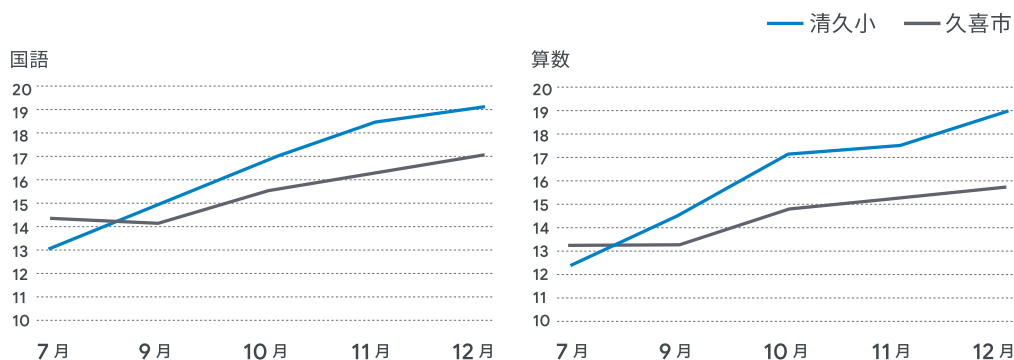
学力状況調査で、Chromebook を学習で活用し、
協働作業で主体性を育み学習意欲が向上した結果、
学力が向上したという結果が得られた学校もありました。

この冊子には、いち早く実践した先生のインタビューを掲載しました。
テストの平均点が上がった、採点が楽になった、
グループ学習を円滑に進められるようになったなど多くの声が寄せられています。
この先生方の体験から、ヒントを得ていただければ幸いです。

また、Google for Education では、この冊子だけに限らず、
スキルアップのための研修プログラムや先生同士の相談コミュニティなど、
数多くのサポートを用意しています。ぜひご活用ください。(p.15 参照)

ひとり 1 台環境を、より楽しく、より簡単に。
わたしたちは、これからも先生方を全力でサポートしていきます。

「久喜市ステップアップ テスト」令和 2 年度 小学 6 年生の経年変化



※埼玉県学力・学習状況調査と同様の性質を持ち、毎月実施している久喜市独自の学力調査
令和 2 年度は臨時休業等の影響により 7 月より実施

CONTENTS

Phase 1 決定後・導入前

教員向けに研修を複数回実施し
ハブになる教員をつくった

吉村 奈々子 教諭 P6・7

Phase 2 端末到着後

細かいルール設定を設けずに
生徒の主体的な活用を重視

河部 秀喜 教諭 P8

Phase 3 端末配布後

学年ごとに行った事前説明で
学校全体の意欲が向上

北川 雅大 教諭 P9

Phase 4 最初の授業

国語の授業で辞書代わりに検索
速度向上で得られた深い学び

北爪 幸枝 教諭 P10

Google スライドを活用して
生徒の主体的な学びが深まった

井上 木綿子 教諭 P11

Phase 5 現在・今後の活用

実践でわかったさらなる活用術
もっと使える Chromebook

永富 信行 校長 P12・13

姫路市立安室中学校

教育熱心な保護者と地域にめぐまれた 主体的に取り組む心の育成を目指す中学校



「夢や目標の実現に向けて主体的に学ぶ生徒の育成」「自ら心と体をきたえ心身ともに健康な生徒の育成」「互いに思いやり自他の命を大切に作る生徒の育成」の3つを教育目標としている。教職員数45人、生徒数746人(※令和2年5月現在)。HPとは別に「安室中学校 Google サイト」を作成するなど ICT 教育に力を入れており、生徒の主体的な活用を重視。校内研修も積極的に実施し、教職員の資質向上にも注力している。

アンケート ※安室中学校の教職員32名にご回答いただきました。

Chromebook を導入すると聞いたとき、どう思われましたか？

不安だった先生方

75%

どのタイミングで Chromebook を利用した授業が「問題なくできそうだ」と感じましたか？

Chromebook 導入から3か月以内にできそうだと感じた

56%

授業でもっとも活用している Google for Education (Google Workspace for Education) のツールはなんですか？

TOP3

1. Google Classroom
2. Google スライド
3. Google サイト

Google for Education (Google Workspace for Education) の各ツールで気に入っている機能はなんですか？

TOP3

1. 共同編集機能
2. 共有機能
3. 自動保存機能

Chromebook の気に入っているところはどこですか？

TOP3

1. 起動が早い
2. 動作が軽い
2. ドキュメントなど Google Workspace for Education ツールと連携しやすい

Chromebook を生徒が1人1台を使った授業によって、生徒が授業に取り組む姿勢は具体的にどのように変わりましたか？

- Chromebook を利用して積極的に調べ物などをするようになった
- 発表が苦手な生徒が、Google フォームなどを使うことで自分の意見を伝える場ができ、積極的に記入するようになった
- 普段あまり積極的に授業に取り組まない生徒が率先して調べ学習、発表をするようになった

コロナウイルス感染拡大防止対応では、どのように活用しましたか？

- 生徒の検温結果を Google フォームで毎日提出してもらい管理をした
- 休業期間中に Google Classroom で課題発信などを行った

教員向けに研修を複数回実施し ハブになる教員をつかった

- ▶ Chromebook が配布される前に、教員向けに研修を実施。初歩的なことからはじめ、すべての機能について網羅した研修に。
- ▶ ICT 機器にたけた教員がハブになり、他の教員に教えることができるようになることを狙った。
- ▶ 具体的な活用事例など、この先のイメージを提示。技術面だけを高めるのではなく、教員のモチベーションを高めた。



吉村 奈々子 教諭

教員生活 21 年目。安室中学校に赴任してから 4 年目。1 年生の数学、ならびに教職員の研修担当。

——安室中学校では、教員向けに校内研修を実施されたそうですが、どういった理由で研修を行うことになったのでしょうか？

研修担当である私自身が ICT 機器に関して明るくなく、活用法などをまとめて学ぶ機会が必要と感じていました。そもそも以前は授業に使うことに対してあまり積極的に考えていなくて、パソコン自体も表計算や文字入力といった必要最低限でしか使っていませんでした。

学校全体でみても、ICT 機器を使いこなせる教員は 3 割にも満たない程度。しかし、GIGA スクール構想のもと、全生徒に 1 人 1 台の端末が配布されることは明らかでした。研修担当として、教員たちが ICT 機器を使えるようになるための勉強の場が必要だと思っていたのです。

——実際に ICT 機器の研修を行ったのはいつ頃ですか？

令和 2 年の 4 月からです。これまで、研修を行う必要性

を感じてはいたのですが、なかなか全教員向けにまとまった時間を取れずにいました。そんな折、4 月から臨時休業になったのです。休業期間中は教員も在宅勤務中心でしたので、複数回に分けて実施すれば実現できるのではないかと考えて、教員向けに研修を行うことにしたのです。

——具体的にはどういった研修を行ったのでしょうか？

姫路市の教育委員会には、ICT 支援員を派遣していただける仕組みがありましたので、直接お越しいただいて研修を実施していただきました。第 1 回目は 4 月末に実施しました。全教員の 3 分の 1 程度にあたる約 20 名が参加し、Wi-Fi への接続など、ICT 機器の基本設定から学びました。

——研修に対して、教員のみなさまは積極的でしたか？

その段階では全生徒への Chromebook 配布がいつになるのかが決まっていませんでした。そのため、全員が積極的ではなかったかもしれません。ただ、研修を行うタイミングで、Google アカウントを全生徒に配布することになり、いよいよ覚えなないといけないといった危機感が芽生えていったと思います。

臨時休業中は計 5 回研修を実施しましたが、回を追うごとに参加を希望する教員が増えて、本来は在宅勤務予定だった教員も参加したいと言ってきたほどでした。3 密を避けるために、2～3 教室に分かれ、各教室を Google Meet でつなぎ研修を行いました。



導入に向け Chromebook の研修に臨む教員たち



Chromebook の導入以降、生徒も教員も共に、これからの時代に必要不可欠となる ICT の活用への取り組みを続けている

—— **実際に Chromebook が全生徒に配布されたのはいつですか？**

9 月に先行して 3 年生全員分が配布され、1・2 年生への配布が完了したのは令和 3 年 1 月末です。研修をはじめた段階では今年度中に届くとは思っていなかったため気持ち的にまだ余裕はありましたが、いざ届くとわかってからは、希望者とは言わず、全教員に研修を受けてもらうようにしました。

—— **臨時休業中に行った研修で、ICT 機器への不安は解消されましたか？**

その段階では不安自体は解消されなかったと思います。回を重ねるごとに教わることも増えていき、消化しきれないままわからないことがどんどん増えていくんです。でも、ICT 支援員の方には研修期間中にできることをすべて教えてくださいと言ったんです。

—— **不安が残る中で、どうして研修を次々と進められたのでしょうか？**

少ないとは言っても、ICT 機器にたけている教員はいました。そういった教員が研修で様々な情報を得ることで、他の教員に教えることができるようになります。臨時休業中に、そうしたハブになる教員を一人でも多く増やしたかったんです。

理解できなかった教員も、できることがなんとなくわかっ

ていけば、ICT 機器にたけた教員と意見を交換しながらで

—— **ICT 機器導入に対する教員間での温度差は、どうやって埋めたのでしょうか？**

わからないことが増え、不安になっていく中、そもそもこれが生徒にとって有効活用できるものなのかといった疑問が湧き上がってきました。Chromebook を使うのが目的ではなく、生徒を育てるための Chromebook であるはず。そこで姫路市教育委員会の指導主事に、GIGA スクール構想が目指すところや、姫路市が考える 1 人 1 台端末の活用について、Google スプレッドシートや Google フォームを活用しながら研修していただきました。この研修では、教員の技術面だけでなく、モチベーションの向上にもつながりました。具体的な操作や活用事例を知ることで、私達の学校もどう進んでいくのか、ぼんやりしていた活用イメージが少しクリアになったと思います。

ICT 活用に対して積極的でない教員の一番の原因は、自分に使いこなせるかという不安です。不得意だから触らないでいるよりも、わからなくてもいいからとにかく使ってみることが大切だと、研修を通じてわかりました。

私自身は授業に導入しはじめたばかりですが、まだまだわからないことばかりです。若い頃からパソコンに触れている教員と、そうでない教員に差があるのは当然です。だからこそ、年齢や立場を超えて、これからも教員同士で教え合いながら一緒に学んでいけたらと思っています。

細かいルール設定を設けずに 生徒の主体的な活用を重視

- ▶ 端末配布の前に、Google アカウントにログインする練習からスタート。タッチパネルが不安を解消。
- ▶ 端末の取り扱いについての注意点は、書面にまとめて全生徒に配布。学年ごとにルールを制定。
- ▶ 連続使用時間などの細かいルール設定はせず、生徒による日常での主体的な活用を重視。



河部 秀喜 教諭

教員生活 5 年目。安室中学校に赴任してから 3 年目。担当教科は技術。3 年生の担任を受け持ち、学年の情報担当を務める。

— Chromebook が到着し、全生徒に配布するまでの間、どのような取り組みをされましたか？

Google アカウントは令和 2 年 4 月末に生徒全員に配布済みでしたので、最初はコンピュータ室のパソコンからログインをしました。最初はアカウント情報を書いた紙を忘れてくる生徒や、二段階認証の設定でうまくログインできない生徒もいて、想像よりも足踏みすることが多かったです。

また正式な導入が決まる前は、文字入力をはじめ、操作面で生徒たちがうまく対応できるかの懸念がありました。スマートフォンなどで ICT 機器自体には慣れているものの、キーボード付きの端末に関しては不慣れな生徒も多くいます。しかし、導入した Chromebook は直感的に操作できるタッチパネルですので、そのあたりの問題は解決されました。実際に、生徒たちも使い慣れるのが早かったと思います。



ノートやペンのように Chromebook を授業で活用する生徒たち

— 配布に際して、Chromebook の運用ルールはどのようにされましたか？

基本的な端末の取り扱いについては、姫路市の教育委員会が制定したルールをもとに作成し、生徒には取り扱いに際しての注意点をまとめた紙を配布しました。

学年ごとに運用ルールを制定したのですが、私が担当した 3 年生では、使用時間の制限や休み時間における使用の可否といった細かいルールは設定せずに、教員が見守りながらある程度生徒に任せていました。

— どうして、細かいルールを設定されなかったのでしょうか？

ICT 機器については教員よりも生徒たちのほうが慣れ親しんでいます。教員がまだよくわかっていない段階であれやこれやとルールを決めても、生徒から新たな使い方を提示されるたびに検討してルールを改定していく必要があります。それならば、最初は学習活動で使うといった方向性だけ示して、試行錯誤しながら情報を蓄積していくのが良いと考えたからです。

教員向けの事前研修のときに印象的だったのが、Chromebook などの情報端末は筆箱の中に入っているペンと同じだと考えないといけなかったこと。生徒たちのために我々ができることは授業だけでなく、日常(授業外)から生徒が主体的に活用できる環境を与えること。学校からの細かいルール設定よりも生徒主体でルールを考え、日常の活用からネットモラルや操作スキルの向上を図っていきたいと考えています。

学年ごとに行った事前説明で 学校全体の意欲が向上

- ▶ 全生徒分の Chromebook がそろった段階で、各学級担任から Chromebook の活用について説明を実施。
- ▶ 学校からの細かいルール設定よりも生徒主体でルールを考え、日常の活用からネットモラルや操作スキルの向上を図る。
- ▶ ロールプレイングで見た教員間での習熟度の差こそ、実践投入前にわかるリアルな声。教員向け研修の実施で不安が払拭。



北川 雅大 教諭

教員生活 9 年目。安室中学校に赴任してから 4 年目。担当教科は数学。1 年生の担任を受け持ち、学年の情報担当を務める。

—— 端末配布に際して、どのような不安がありましたか？

実は、平成 25 年度に導入されたタブレットの更新に伴い、令和元年度にすでに Chromebook 30 台が導入済みでした。しかし、うまく活用できていない現状があり、せっかく 1 人 1 台になった Chromebook をうまく活用していけるかが不安でした。

また、生徒が 1 人 1 台の活用において、生徒、教員それぞれの活用スキルにかなりの差があることで、一層活用が進まないのではと危惧していました。

さらに、Chromebook を使うことに注力してしまい、授業本来のめあてが崩れてしまうのではといった漠然とした不安もありました。

—— Chromebook 配布に際して、生徒にはどのような施策を実施されましたか？

Chromebook 配布前に Google アカウントへのログイン方法などは習得済みですので、全生徒分の Chromebook がそろった段階で、各学級担任から Chromebook の活用について説明を行いました。本当は、学年集会で一斉に説明する予定でしたが、各担任が学年としてのルールや活用方法を説明することで、学校全体の活用意欲向上につながったように思います。

また学年主任の先生からは、「Chromebook は頑丈に作られているので、日常からどんどん使っていこう。ただし大切に使ってね」といった説明をしていただきました。安室中学



Google for Education と Chromebook を活用して授業の幅が広がっていく

校は大規模校でクラス数も多く、説明も大変ではありましたが、学年としてのチーム感が一層強くなり、また、その姿が生徒たちにも伝わったように思います。

—— 実際の授業がはじまるまでに、そうした不安はどうやって払拭したのでしょうか？

教員向けの研修を複数回実施したことや、Chromebook で何ができるか事前に知れたことが不安の払拭につながったと思います。

特に、先生役と生徒役に分かれたロールプレイングを取り入れた研修では、ICT に対して苦手意識を持っている教員から出てくる疑問や、習熟度の違いで発生するリアルな声を共有することができ、事前に心構えができたと思います。

国語の授業で辞書代わりに検索 速度向上で得られた深い学び

- ▶ 研修で学んだことを使いこなせず、自信を持って教えられるのかと不安に。生徒からの期待がなくなることへの恐怖。
- ▶ 辞書代わりに使ってみた結果、授業効率のアップと生徒の達成感が得られる効果が。
- ▶ 自分自身が不慣れなことで気持ちに折り合いがつかず、勝手に ICT 機器への心理的ハードルを上げていたとの気づき。



北爪 幸枝 教諭

教員生活 24年目。安室中学校に赴任してから2年目。担当教科は国語。2年生の担任を受け持つ。

——授業で Chromebook を使うまでに、どのような不安がありましたか？

これまでの教員生活の中で、今回の1人1台端末といったような大きな変革ははじめての経験です。そもそも本当に使う場面が来るのかといった疑問や、研修で教わった知識も使いこなせない中で、自信を持って教えられるのかという不安がありました。生徒たちのほうが ICT 機器には慣れていきますので、教える立場である私に期待をしなくなるのではないかとという恐怖心もありました。

——不安を抱えつつも、最初の授業ではどんなことをされたのでしょうか？

まずは「自分でもできることを」と考えた結果、慣用句の語彙を調べる際に辞書代わりに Chromebook を使ってみました。従来なら辞書を使う力を付けるための授業でしたが、すでに高校では電子辞書を使っている生徒も多いと言いますから、それならば ICT 端末の練習にもなるので、Chromebook で調

べるのも良いのではないかと考えたんです。

——授業で使ってみて、どのような気づきがありましたか？

使い慣れるまで時間がかかる辞書に比べて、Chromebook を使って検索するほうが調べる時間が格段に速くなり、より深く調べることができるようになりました。さらに、与えた課題も最後までやりきれようになった生徒も増え、達成感が得られるようになったことは良い結果だと思いました。

Chromebook を使った授業をする前は、辞書代わりにすることにさえ不安がありましたが、それも自分自身が不慣れなことで気持ちに折り合いがつかず、勝手に ICT 機器への心理的ハードルを上げていただけだったと気づきました。

——授業以外では、Chromebook をどんな風に活用されていますか？

生徒たちに一日でも早く Chromebook に慣れてもらうためにはじめたのが、毎朝の検温結果を Google フォームを介して報告してもらうことです。その他には、他の教科の話ですが、Google Classroom に授業の板書の画像をアップし、長く登校できていない生徒とも授業を共有できる仕組みをつくらたり、体育の授業では走る姿を動画で撮影して、フォームの確認をするといった使い方もされているようです。

私自身も今後は、授業の振り返りを Google フォームなどを活用し、コメントを返すといった風に、生徒たちとさらに一歩進んだ使い方ができたらいいなと思っています。



辞書代わりに Chromebook を使いながら端末の練習にもつながら

Google スライドを活用して 生徒の主体的な学びが深まった

- ▶ 英語の授業で生徒がスライドを作成し、プレゼンを実施。視覚的な興味によって、授業への意欲が向上。
- ▶ 自分がやりたい授業を目指して、できることから始める。足りない部分は、サポートを受けながらスキルアップ。
- ▶ 他の教員と情報交換をし、何事も試していく謙虚な姿勢。教員が自ら学ぶことで、生徒たちにも安心感を与える。



井上 木綿子 教諭

教員生活 18 年目。安室中学校に赴任してから 9 年目。担当教科は英語。3 年生の担任を受け持つ。

——授業で Chromebook を使うまでに、どのような不安がありましたか？

自分自身が使い方をよく理解していないのに、教えられるのだろうかと不安でした。ただ、教員向けの研修を受けていく中で少しずつ使い方を覚えていって、自信がついていった感じはありました。それでも、最初の授業までは、本当に使いこなせるか不安が大きかったです。

——英語では、Chromebook を使ってどんな授業をされたのでしょうか？

「My Favorite Quote」といって、自分の好きな言葉を発表する授業で、Google スライドを使ってのプレゼンテーションをしてもらいました。生徒には、ひな型となる基本的なデータを配布して、そこに文章や画像を入力してもらおうようにしました。

——最初の取り組みとしてはかなり使いこなしている印象ですが、以前からそうした取り組みをしていたのでしょうか？

私自身も ICT 機器を授業で使うのは初めてでしたが、画面に映し出してプレゼンできたらいいなと思って研修時に講師の方に相談したら、Google スライドを使うといいのではとご教示いただけました。そこで最初は授業の内容をまとめたり短い英語の文をモニターに映したりして、少しずつ授業に取り入れたんです。

ただ、それでもいざ生徒と使うとなると不安もありましたので、教育委員会の方に ICT 支援員を派遣してもらい、授業



Google スライドを用いることで英語授業にも様々な工夫が期待できる

の補佐をお願いしました。結果的に、子どもたちと学びながら一緒にスキルを向上させていけるようになりました。

——Google スライドを使った授業で、生徒からはどんな反応が見られましたか？

絵やアニメーションなども使えることで、面白がって取り組んでくれました。緊張感を持ちながらも工夫を凝らした発表に、聞く生徒の顔も自然と上がり、授業に対しての意欲の向上が見られました。

それ以降の授業でも、音や映像などの新たなアイデアを取り入れたり、さらに掘り下げて調べるなど、生徒が主体的に取り組む、学びがどんどん深まっていく姿が見られました。

今はまだ手探りの状態ですが、今はとにかく謙虚になって、生徒たちにも教えてもらいながらやるしかないと思っています。他の教員と情報交換をして、まずは何事も試していく。一歩ずつ、半歩ずつでも前進していくことで、生徒たちに安心感が与えられるのではないかなと思います。

実践でわかったさらなる活用術 もっと使える Chromebook

ここまでに登場してくださった安室中学校の教員のみなさまに、
Chromebook の授業での活用事例や、今後やってみたいことなどについて伺いました。

Q 実際に導入してわかった Chromebook の活用方法を教えてください

授業で聞けなかったことなど、生徒とのやりとりに Google フォームを活用すると便利です。Google スプレッドシートで一覧にもでき、紙に書いてもらうより効率が良く、授業にも即座に反映しやすくなります。また、これまで直接だと言いきそうにしていた生徒が、Chromebook を使うと積極的に自分の意見を出せるようになりました。今後も生徒主体で活用を進めていけるよう、校内研修を充実させ、さらに積極的に使っていきたいです。



数学科

吉村 奈々子 教諭



技術科

河部 秀喜 教諭

授業開始までにログインを済ませることで、時間短縮に。また Google フォームで前回学んだことを問う確認テストを作り、授業の初めに実施しています。全 3 問程度のものですが、データを送信すると、生徒には正しい解答と簡単な解説が出るようにしています。生徒は復習がしやすく、我々も一番間違いが多かったものなど即座に数値化されるので、復習の効率化ができ、その時間に本来やりたかったことの割合を増やせるようになりました。

学級活動で一日の振り返りに Chromebook を活用しています。班ごとに作った Google スプレッドシート上で各生徒がテキストを入力し、意見交換をしています。リアルタイムで情報が更新され目に見える形で残りますので、会話だけでやっていたときよりも情報共有がしやすくなったように思います。また、会話が苦手な子でも積極的に発言するようになったと思います。



数学科

北川 雅大 教諭

教科書に載っている物語を読んで、その場ですぐに意見を共有し、グループや全体で意見交換するといった使い方をしてみたいです。また、文章を書いて発表する場もより広げていきたいです。感想文だけにとどまらず、たとえば短歌を詠むなど、生徒たちに創作の機会を増やしていきけるような仕組みづくりも、Chromebook で実現できたらいいなと思っています。



国語科

北爪 幸枝教諭



英語科

井上 木綿子教諭

Chromebook が配布される前でしたが、臨時休業中にも接触の機会をと考えて希望者を募って Google Meet でつなぎ英会話をするとした取り組みを実施しました。どんな風に映るのか、音声がかうまく聞き取れるのかといったことを、生徒とともに楽しみながら学べたことが良かったと思います。現在は進路指導でも活用しています。知りたい情報に即座にアクセスし共有することで時間短縮になり、情報の取りこぼしも少なくなりました。

社会で通用する人材を育てる。学校の本来の姿を目指して

—— Chromebook の導入については、どのように感じていらっしゃいますか？

教科書を使い、チョークで黒板に書く、それを手書きでノートに写す。私が教師になった 30 年以上前と現在とで、学校はあまりに変わっていないと思います。しかし、世の中は大きく変わっています。電話は携帯電話になり、手紙はメールになりました。日頃の業務も ICT 機器を使うのが当たり前になっています。

元来、学校という場所は、社会で通用する人材を育てるところでありました。しかし、社会の進化に学校は対応できていなかったと思います。私自身もかつては変化を嫌う教師の一人でした。しかし校長となり、立場が変わったことで、見える景色が変わってきました。

学習指導要領が新しくなり、「教師が教える」のではなく、「生徒が学ぶ」と主語が変わりました。しかし、教員もすぐに順応できないのが現実です。今回の Chromebook 導入は、良いチャンスだと思っています。目に見えて大きな変化がやってきました。我々

が変わらざるを得ない現実を突き付けてもらったのだと思っています。

—— 今後は、Chromebook をどのように活用されたいと考えていらっしゃいますか？

Chromebook の活用に関しては、教員間での温度差がまだ大きいです。積極的に活用している教員と、そうでない教員がいます。しかし、苦手・得意で済ませられない時代が来ています。学校はこれまで、教科の指導や部活動といった、校内のことだけを一生懸命に行うことを本分としてきました。しかし、今後は生徒が自らもっと世の中の出来事に興味を持ち、積極的に調べていきたい気持ちにさせることが大切だと思います。Chromebook を活用することで、それが実現できるのではないかと考えています。

姫路市立安室中学校 永富 信行校長

教員生活 35 年。令和元年度、安室中学校に校長として着任。

このときは何をしておくべき？

導入を通して見えた 使える!チェックポイント

Chromebook の導入から授業での活用まで、それぞれの Phase で抑えておきたいポイントをチェックリストとしてまとめました。各チェックポイントには、関連事例と連動したページも表記しています。合わせて参考にしてください。



〈端末配布前〉

授業で端末を使う前にログインの手続きを実際に試しながら、二段階認証の設定やアカウント情報の管理などを確認 ▶ P.8



〈生徒への配布時〉

端末の運用ルールを学年ごとに制定。細かく規定しすぎずに、大きな方向性を決める ▶ P.8



〈最初の授業前〉

生徒間での ICT 習熟度の違いを考慮し、端末配布後に通信への接続などの初歩的な作業を全員でおさらいする ▶ P.9



〈授業への導入時〉

Chromebook を使った授業設計や、実際の授業の運用には積極的に ICT 支援員や研修などのサポートを要請する ▶ P.11



〈授業への導入後〉

Chromebook の操作に慣れるために、生徒の日々の検温報告などに Google フォームでの入力を取り入れる ▶ P.10



〈日々の活用時〉

自治体や学校の研修などに積極的に参加して、スキルアップに、Google for Education が提供するウェブ上の動画や資料も活用する ▶ P.15

しっかりサポートで安心！ 導入や活用に関する なるほど！なヒントや事例たち

こういうときはどうしたらいい？ 他の学校はどうやっているの？ そんな疑問の解消や、Chromebook 活用のヒントをまとめたお役立ち情報です。上手にを使って、導入時や授業に生かしてみてください。



Google for Education 導入事例

日本の学校の導入事例動画を
まとめたプレイリスト

goo.gle/video-jp



日本全国の注目の事例

Google for Education の
活用事例をまとめた事例ページ

goo.gle/school-jp



Google Classroom ビデオ シリーズ

Google Classroom 活用方法を
まとめたプレイリスト

goo.gle/classroom-jp



Teacher Center サイト

先生向け各種トレーニングや
コンテンツをまとめたサイト

g.co/teachercenter



ティーチャー フォーラム

実際の Chromebook 活用例を
紹介したウェビナー アーカイブ

goo.gle/teacherforum



Google for Education ICT 活用に関するリソース集

活用事例、トレーニング、デモなどの
情報をリストアップ

goo.gle/resource-jp



Google for Education

Google for Education お問い合わせ事務局

TEL 0120-905-860 ※平日 9:00-18:00 (祝祭日、年末年始除く)

MAIL gfe-jp-isr@google.com

WEB <http://edu.google.com/>